

げんげんどう

特集 透析用シャント (VA) の治療

2023.10 No. **96**

- ① 呼吸器内科部長 野口医師の油絵 -秋の中島公園-
- ② ③ 玄々堂木更津クリニック関係者の抱負について
- ④ ⑤ 透析用シャント (VA) の治療
- ⑥ 新任医師の紹介・退任医師のお知らせ・部署紹介：3B 病棟
- ⑦ 玄々堂木更津クリニック移転およびウェル・ヴィレッジ木更津開設について
- ⑧ 玄々堂木更津クリニック外来のお知らせ・院内看護研究発表会開催



げんげん 日和

入院中の食事は病状によってメニューが異なります
塩分制限
脂質制限など

制限されることも多い入院生活ですが
まけ
ますね

あらっ

嬉しいわ
食事が楽しい時間となれば嬉しいです

作：まつ



看護研究発表メンバーと座長

新しい玄々堂木更津クリニックの外来は、今までの一般外来と糖尿病外来に加え、フットケア外来、腎外来が加わり拡大します。
フットケア外来では、静脈、動脈疾患に対応します。状態によって、玄々堂君津病院と連携をはかり治療や手術も行います。足の大きさ、血管の蛇行、肥厚爪、胼胝(たこ)、巻き爪の症状でお悩みの方はご相談ください。
腎外来は腎機能の段階に合わせた治療が行われます。紹介状や健診の結果をお持ちの方は予約時にお知らせください。透析患者さんのシャントのトラブル(PTA)にも対応できるよう手術室も設置されており、他院で透析をされている方の依頼もお受けします。

診察、健診、ワクチン(肺炎球菌、带状疱疹、インフルエンザ等)のご相談は玄々堂木更津クリニック受付までお問い合わせください。

玄々堂木更津クリニック外来担当医師

	月	火	水	木	金
9:00 ~ 9:30	一般 神田医師	一般 神田医師	一般 神田医師	一般 神田医師	一般 神田医師
9:30 ~ 11:30	フットケア 北岡医師	じん 大崎医師	じん 西山医師	じん 根本医師	じん 工藤医師
14:00 ~ 16:00	糖尿病 荻野医師	PTA			PTA アクセスOPE

玄々堂君津病院副看護部長 鳥飼 紀子

第34回院内看護研究発表会開催

7月15日に院内看護研究発表会がオンラインで開催されました。
発表者は1年間研究指導を受けながら、論文にまとめ発表し看護の発展と看護の質向上に繋がる内容でした。
「共有ノートを通じて感じる患者の笑顔」
4階病棟ナースエイド 星 佳奈子
「術後深部静脈血栓予防における弾性包帯ケア標準化への試み」
2階病棟看護師 永井 妙子
「セルケアの意識の変化にFGMデータの可視化が与える影響」
外来主任・糖尿病認定看護師 町田 洋子
「COVID-19患者の外来透析を経験した透析室看護師の心理状況」
坂田透析室看護師長 佐野 智美

玄々堂君津病院 各お問い合わせ番号 月曜日～土曜日(祝日は除く)

玄々堂君津病院
0439-52-2366
代表

外来診療予約
0439-52-7068
診療予約・予約変更

地域連携室
0439-52-2457
医療機関からの患者さんのご紹介

玄々堂木更津クリニック
0438-53-7807
代表





医療法人新都市医療研究会
「君津」会常務理事
玄々堂君津病院
総合腎臓病センター
センター長
大崎 慎一

このたび、木更津市に玄々堂木更津クリニックをリニューアルいたしました。ここでは、総合腎臓病センターの一翼として、玄々堂君津病院と連携しながら腎臓病の患者さんを中心にグランドアップした診療を提供していきます。

たとえば外来は腎臓内科専門医による健診異常の精密検査から腎炎治療、そしてCKD(慢性腎臓病)の腎代替療法導入マネージメントが可能になりました。さらに従来からの維持透析に加えて腎臓外科医によるアクセスアップル対応や、血管外科医による下肢静脈瘤やフットケアまで対応する施設として生まれ変わりました。もちろん、地域の皆様の腎臓以外の一般内科診療にも対応いたしますので、気軽にご利用いただけます。

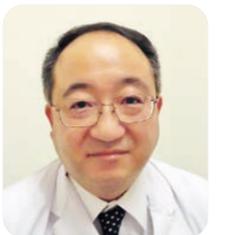
には、サービス付き高齢者向け住宅「ヴェル・ヴィレッジ木更津」を併設いたしました。ここでは、海や木更津花火大会も見える素晴らしい景色を楽しみながら、階下で透析治療を受けることができます。

さらに最上階には環境の良い通所リハビリテーションを備えておりますので、医療と介護と居住を複合した施設で安心した老後を過ごすことができます。

もちろん従来からの維持透析も、ベッド数をワンフロア60床に増床するとともに、神田院長を中心に患者さんに寄り添った透析治療を最新設備で提供いたします。透析送迎バスも強化して運行いたしますので安心ください。

このように玄々堂木更津クリニックは一般診療から透析、そして介護やリハビリテーションと連携した高齢者住宅まで備えた、新しい形の総合腎臓病治療施設として生まれ変わりました。そして医療法人新都市医療研究会「君津」会「総合腎臓病センター」の一員として、病状が悪化した場合には玄々堂君津病院で優先的に治療対応いたします。私たちは、腎臓病の患者さんが安心して暮らせるように、全力でサポートします。

玄々堂木更津クリニック 移転に伴い、新たな抱負



玄々堂木更津クリニック
院長
神田 文義

酷暑の夏をなんとか乗り越え、日々秋が深まっていく折、いかがお過ごしでしょうか。多数の皆様のご協力を賜り、10月1日に玄々堂木更津クリニックは新たな中里の地に新築移転いたしました。建物設備も新しくなり、ワンフロアで透析が可能になりました。外来部門

新しい施設への想い



玄々堂木更津クリニック事務長
ウェル・ヴィレッジ木更津施設長
佐藤 年成

このたび、玄々堂木更津クリニック事務長とサービス付き高齢者向け住宅の施設長を拝命いたしました佐藤年成と申します。5年の準備期間を経て新築ビルが落成し、身が引き締まる思いです。

も拡充され、バスキョウアークセスの修復も院内で可能となりました。新たに感染隔離のための個室も備えております。透析ベッド増床に伴い新たに転院されてくる患者さんもおこしになります。スタッフ一同歓迎いたします。

今後ともこれまでと変わらず、各職種・患者さんと御家族のワンチームで、安全・安心な温かい医療を行ってまいります。新施設に合わせて、従来と異なるお約束事をお願いすることもありますが、ご協力をお願いいたします。疾患以外にも克服しなければならぬ新たな感染症、災害、危機的な天候等、課題は必発ですが、最善を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

新しい施設での船出にあたり、玄々堂木更津クリニック30年の歴史を糧として原点に立ち返り、改めて地域の皆様にお約束したいと思っております。機能強化したクリニックにおいては、地域の皆様に寄り添って良質な医療を患者さんに提供して参ります。新設した高齢者向け住宅では「医療のフロア」と「介護のフロア」が連携し、ご入居者が安全で安心できる豊かな生活空間をお届けします。

皆様のご期待に沿えるよう、スタッフ一同が全力を挙げて邁進してまいりますので、温かいご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

玄々堂木更津クリニック職員の抱負

1対1の個別リハビリテーションを提供いたします。



玄々堂木更津クリニック
リハビリテーション科科長
保坂 聡

玄々堂木更津クリニックリハビリテーション科科長を拝命いたしました保坂聡と申します。2023年10月木更津クリニック移転に伴い、通院透析施設に加えサービス付き高齢者向け住宅と介護保険認定の方を対象とする通所リハビリテーション(デイケア)が開院いたします。デイケアの利用定員は、1日最大180名、1ヶ月4500名を想定しています。そこでは、利用者様の病態や生活スタイル、ニーズに合わせ

たりハビリプログラムを組み、1対1の個別リハビリテーションを提供いたします。体調に応じて、短時間利用も可能です。身体機能回復や日常生活動作におけるサポートが行えるよう、充実した施設環境や信頼と安心のサービスが提供できるよう努力してまいります。また、利用者様が住み慣れた地域で、その人らしい生活が送れるようにスタッフ全員で支援させていただきます。

透析室は今よりも10床増えワンフロアになります。

このたび、玄々堂木更津クリニック臨床工学科科長を拝命いたしました山口裕伸です。このような大役を賜りましたことは、入職以来ご指導いただきました諸先輩方と、常に快くサポートして下さった周りの方々の存在あってこそだと感じています。10月には玄々堂木更津クリニックが新規移転で開設されました。透析室は以前よりも10床増え、1階と2階に分散していたフロアが60床のワンフロアになります。最新の透析治療を安心して受けていただけるよう、透析装置や環

境を充実して開設に向けて準備いたしました。スタッフも経験したことのない同フロアでの透析治療を行うこととなりますが、これまでの仕事で培ってきた経験を活かし切り、患者さんに安全で安心できる透析治療を提供できるよう、より広い視野を持って真摯に取り組んでいかなくはならないと深く決意しております。まだまだ力不足ではありますが、精一杯精進してまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。



玄々堂木更津クリニック
臨床工学科科長
山口 裕伸

地域医療に貢献出来るよう努めてまいります。



玄々堂木更津クリニック
事務課課長
柴田 芳毅

このたび、玄々堂木更津クリニック事務課課長を拝命いたしました柴田芳毅です。このような大役を賜りましたのは、入職して以来、医事課一筋で業務を行ってきた私をサポートして下さった病院の方々のおかげだと思っております。特に医事課の皆さんの沢山のサポートがなければ、今の私はないといっても過言ではありません。本当に心から感謝しています。

これからは玄々堂木更津クリニックの皆さんと協力し、患者さんが快適に受診できる環境を整え、地域医療に貢献出来るよう努めてまいります。また、事務課として適正な診療報酬の請求を行っていただけるよう、これまでの業務で培ってきた経験を活かし、今後はより広い視野で様々な仕事に取り組んでいく所存です。これからもどうぞ玄々堂木更津クリニックをよろしくお願いたします。

様々な職種と協働しながら看護力の向上に努めます。



玄々堂木更津クリニック
看護部長
服部 美由紀

葉に、シャント音という貴重なデータをいただいていると身が引き締まります。

当クリニックは、2023年10月2日新築移転しました。今後も患者さんのかけがえのない人生を支えられるよう、様々な職種と協働しながら看護力の向上に努めます。今後も、笑顔を忘れず、あたたかい会話を大切に、おひとりおひとりの患者さんの困りごとに目を向け、信頼していただけるよう看護のチームを作りたいと思います。

私たち看護師は、患者さんを応援するサポーター集団です。主役の患者さんたちが、安心して通院ができるようにお手伝いすることが役割だと考えています。玄々堂木更津クリニックの看護師は、長年にわたり、透析患者さん、外来患者さんから、教科書には載っていないたくさんのお話を日々教えていただきました。「シャント音、毎日聴いて飽きてしまいました。毎回聴いてくれる看護師さんに感謝です。」しっかり自己管理している患者さんからの感謝の言

透析用シャント(VA)の治療

医療法人新都市医療研究会「君津」会
玄々堂君津病院総合腎臓病センター長 大崎 慎一

透析用シャント(VA)の治療

04 げんげんどう

血液透析を続けていく上で欠かせないものがあります。それがいわゆるシャント・正式にはバスキュラーアクセス(vascular access:VA)です。このVAは透析患者さんの命綱であり、VAが正しく機能しないと透析を行うことはできません。しかしこのVA、時々調子が悪くなるのが問題で、それを私たちはVAトラブルと呼んでいます。

不調になったVAの治療はこの病院でもできるわけではありません。透析治療はやっているけれどVAトラブルの治療はできないという病院やクリニックは世の中にあふれています。その点では玄々堂の透析患者さんは恵まれているかもしれません。なぜなら当院にはVAトラブル治療に関して専門的なトレーニングを受けてきた医師が幾人もいるからです。そして、この文章を書いている私もその一人になります。

VAと言ってもいくつもの種類があ

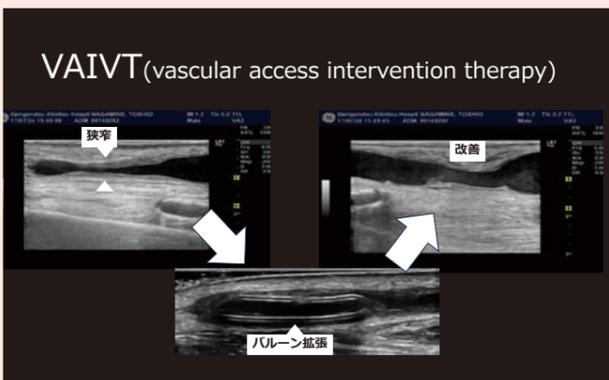
りますし、血管の状態も個人差がとて大きいものです。まずは、皆さんのVAは図のどの絵に一番近いですか？(あまり近い絵が無かったらごめんなさい)



療です。このバルーンにも様々な種類があつて、様々な硬さやしなやかさに加えて、刃がついて内腔をカットするものや、細胞増殖を抑える薬剤を血管に付着させる最新デバイスまで病態に応じて使い分けます。

今回はVAトラブル治療のごく一部をご紹介いたしました。しかし大切なのは日々の透析での管理です。まずは穿刺する部位を定期的に変更することがシャントの長持ちに大切ですし、日常のマッサージも効果があると言われています。そして定期で超音波健診をうけて、シャントの状態を把握しま

しよう。もし異常が見つかったら、その時は私たちにお任せください。治療は玄々堂君津病院と玄々堂木更津クリニックで行っています。もちろん他院で透析を行っている方も分け隔てなく治療を行いますので、いつでも御連絡いただけたらと思います。

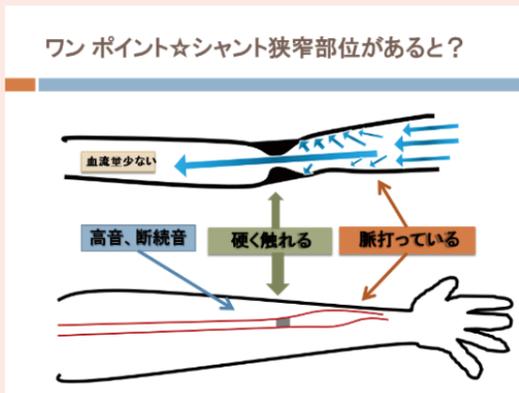


治療前後の超音波画像の変化 (左上:治療前 右上:治療後)



風船に刃がついた特殊なバルーン写真 (peripheral cutting balloon:PCB)

最新の薬剤コーティングバルーン (Drug Coated balloon:DCB)



医療スタッフ Voice

シャントトラブルの看護

玄々堂君津病院
坂田透析室看護師長 佐野 智美

シャントは透析患者さんにとって『命綱』です。シャントが機能していないと、十分な透析ができず、その人らしい生活を送ることができません。シャントを長持ちさせ、良い状態で透析ができるよう、多職種と協働し日々取り組んでいます。異常の早期発見・早期対処に努め、毎回、透析時に観察し、定期的に検査を行っています。

一番重要なのは、患者さんの自己管理になります。患者さんへ自身のシャントに関心を持ってもらえるような指導を行っています。

シャント管理の基本は『見る・聞く・触る』です。毎日、シャント音を聴取し、痛みや発赤がないか、止血状況などを確認してもらい、何かあれば

すぐ看護師に伝えるよう指導しています。高齢化が進んでいるため、患者さんだけでなく、必要時にご家族にも指導しています。患者さんの理解度を把握し、習慣化されるような関りを今後も続けていきます。



シャント音の聴取



手術室でVAトラブル治療中のセンター長

が知られています。ただし狭くなった場所の違いによって、現れる症状が違うので注意しないと見逃してしまいます。たとえば貴方のシャントの近くが狭窄すると音が弱くなって透析の血液が引けなくなります。これはわかりやすい例ですね。しかし、体の近くで狭窄すると腕が浮腫んでしまったり透析後の針孔から血が止まらなくなったりします。一方で、狭窄が穿刺部位の間だと透析は問題なくできていたのに突然シャントが止まってしまふこともあるのです。

実はVAは形態によって起こりやすいトラブルは違うのです。そして治療法も通常の手術だけではなく、人工血管やカテーテルを使用したりなどトラブルに応じて様々な方法があります。今回は紙面の関係で透析続行に影響する頻度の高いトラブルのお話を一つだけします。

VAトラブルの一番多いものが、一部分の血管が狭くなってしまうことです。これを狭窄と言いますが、この狭窄の話をしましょう。血管径が1・5ミリ未満に狭窄すると突然にシャントが閉塞してしまうリスクが高まること

このように、シャントの狭窄の症状は人によって様々なので、当院では定期的に超音波で検査をして発見に努めています。もちろん音や触診で見当をつけることはできませんが、治療が必要なかの判断までは難しい場合が多いからです。そして問題のある狭窄が見つかった時に治療する第一選択が、VA intervention therapy:VAIVTと呼ばれる治療法です。

VAIVTは以前からPTAと呼ばれてきましたので、そちらで知っている方も多かもしれません。図のように狭いところにバルーンと言われる風船を挿入して、内側から膨らませる治

透析用シャント(VA)の治療

05 げんげんどう

新任医師の紹介

8月1日から当院に新たに入職されました
常勤医師を紹介いたします。



腎臓内科
長原あい先生

■略歴

北海道立札幌南高等学校卒業、
北海道大学医学部卒業

■資格

日本内科学会認定内科医、
日本腎臓学会腎臓専門医

■当院で勤務することとなった経緯

道内各地の勤務を経て、家庭の事情により千葉県にやってきました。北海道でも都市部ではさまざまな医療支援が充実している一方、地域によっては、腎代替療法を行える施設が限定され、長距離の通院や十分な透析ベッド数の確保などにハードルが存在しています。居住場所や療法選択に影響を与えることを目の当たりにし、地域医療の難しさを感じてきました。このような経験から地域の腎臓病診療を支える施設として、多くの患者さんのサポートにあたって当院の一員になりたいと思いい職を決めました。
慣れない地になりますが腰を据えて診療に携わりたいと思いますのでよろしくお願い致します。

■当院に来て感じていること、診療で心がけていること

明るい職場で、職種間の距離が近く、チームとして患者さんを支えています。通院されるみなさんの生活に根ざした医療を行えるよう努めたいと思います。

退任医師のお知らせ

9月末をもって神経内科の清水夏繪医師が退任されました。大変お世話になりました。



清水 夏繪先生

看護師長たちと一緒に記念撮影

部署紹介

今回は3B病棟を紹介いたします。

玄々堂君津病院3B病棟看護師長

野村 アコ

3B病棟は病床数41床を有する外科病棟です。入院患者さんが安心して治療に取り組めることを目的に、看護師・クラーク・ナースエイドと力を合わせ、コメディカルとの連携を心がけています。
昨年度の主な手術件数は、腹腔鏡下ヘルニア根治術58件、腹腔鏡下胆嚢摘出術60件、結腸切除術(腹腔鏡下を含む)31件、下肢静脈瘤血管内焼灼術は13件でした。
手術室や外来をはじめとする他部門との連携や、医師との協力体制のもと、



明るい3B病棟です

腹腔鏡下手術、血管内焼灼手術のフリーパスを運用した、安全・確実・効率的なチーム医療を実践しています。また、手術を行う患者さんが安心して療養できることを目的として、それらに付随した患者用パスの作成に取り組んでいます。
看護学生の実習にも力を入れており、2021年に主任看護師が実習指導者講習を受講し、実習体制を見直しました。君津中央病院附属看護学校の基礎実習等を受け入れ、君津地域における看護学生の育成につながっています。



看護学生の育成をしています

入院患者さんの高齢化に伴い、認知機能低下の患者さんも多く入院しています。その中で今年度は認知症やせん妄について部署内で学習会を行い、具体的な対応や取り組みのため、チーム内でのカンファレンス実施を推進しています。
看護実践を通して様々な課題が浮上しますが、ピンチはチャンスと捉え、自分の大切な家族を入院させたいと思える病棟を目指していきたいと思えます。

新しい玄々堂木更津クリニック・ウェル・ヴィレッジ木更津

心強い医療と快適な生活を提供します



透析診療

60床の透析室は最新の機器や設備が整っています。また、手術室とCT室も完備しており、外科的なトラブルにも迅速に対応できます。快適な環境でくつろぎながら最新の透析治療を受けることができます

手術室



外来診療

一般外来、糖尿病外来に加えて腎臓内科外来、腎臓外科外来(バスキュラーアクセス)、血管外科外来を新たに開設します



通所リハビリテーション

クリニック4Fで東京湾を眺めながら専門のリハビリテーションスタッフ(セラピスト)によるリハビリを受けることができます



ウェル・ヴィレッジ木更津

「医療のプロ」と、日常生活を支援する「介護のプロ」が連携して、ご入居者に安全・安心をお届けする、サービス付き高齢者向け住宅です



落成記念祝賀会の様子です



9月7日 落成式が執り行われました